

eitoeiko より展覧会のご案内です。

eitoeiko では6月17日より7月15日まで、入江一郎、岡本光博、島本了多による「アルカイック・ヴァンガード」を開催いたします。1968年京都生まれの岡本光博と1969年に東京で生まれ、2才からロサンゼルスで育った入江一郎にとって、学生時代に訪れた古本屋やレコードショップ、映画館、得体の知れない商品を扱う雑貨屋は刺激の源であり、想像力の泉のようなものでした。1986年東京生まれの島本了多にとっても、年齢の離れた兄を通じて触れたそれらのサブカルチャーの影響は計り知れません。

時代は変わり、入江と岡本は大学で講義を受け持つ側になり、21世紀の入口を過ぎた現在、若者はインターネットネイティブとなり、ダウンロードした楽曲やオンラインゲームに心を揺さぶられるようになり、ひと昔まえのアーティストが考える現代美術は、最先端とは離れたベクトルをもつようになりました。1917年に発表されたデュシャンの泉にはもはや最先端の輝きはありませんが、現代美術が放つ特有の匂い、いかがわしくも魅力的な、犯罪小説のようなウィットと社会を煙にまく鮮やかな逸脱は、歴史を通じて人類の記憶に刻まれています。

どの時代の現代美術作家も背負っていこう「古めかしい前衛」を心の内にして、懐かしさと色褪せないミステリーを秘めた三名の作品を発表します。

入江一郎…ロサンゼルス在住。JAUS 主宰。近年はドイツ、北欧での展覧会のほか、【展覧会名】（サンディエゴ）などのキュレーションを手がける。大学講師、ミュージシャンの顔ももつ。今秋、西海岸各地で開かれるアートイベント、パシフィック・スタンダード・タイムに参加予定。

岡本光博…京都在住。KUNST ARZT 主宰。現在、アムステルダムで開催中の ARTZUID に出展しているほか、青森県立美術館で開催中の「ラブラブショー2」では、高さ6.9m、直径6.9mの巨大な放射能汚染土の精霊「DADA モレ」を発表している。あまざら展（日本橋三越本店）では陶芸家としての活動をみせる。

島本了多…岡本太郎賞に四度入選する。メキシコでパフォーマンスした「絆創膏の男」と作品展示は現地二紙に写真で紹介され、ARTFORUM に二度目の掲載となる。人体の延伸や拡張、不死をテーマに映像、書、液体、セラミックなど素材を選ばぬ柔軟な作品を発表している。

入江一郎・岡本光博・島本了多

ARCAIC VANGUARD

2017年6月17日から7月15日

オープニングパーティー：6月17日（土）18時より21時まで

会期中日曜、月曜のほか、ART OSAKA 参加のため7/6（木）、7/7（金）を休廊いたします。

eitoeiko

〒162-0805 東京都新宿区矢来町32-2

03-6873-3830

開廊 12時から19時 日月祝休廊

<http://eitoeiko.com>

お問い合わせ：ei@eitoeiko.com